

平成 30 年度

# 租税教室実践発表会資料



女川町立女川小学校  
教諭 高清水 英俊

## 1 はじめに

国の財政を賄っている税金は、私たちの日常生活を支えるために使われており、教育や福祉、警察や消防、道路や公共の施設の維持・整備、地方自治体の財源にもなっている。

これまで児童は、社会科の歴史分野で「大化の改新」の『租、庸、調』の税の納め方を学んでいるが、税を納めることが「大変で厳しい」「辛い」といった印象を持っている。

そこで、児童の税に対する理解を深めるために、租税教室を実施することとした。今回の実践を通して、児童が税の大切さや必要性を理解し、政治や国の将来、女川町の未来について考える機会としたい。

## 2 児童の実態

本学級は、男子19名、女子17名、計36名の児童が在籍している。事前に税に関するアンケートをとったところ、以下のような結果となった。

- 1 「税」と聞いてどんなイメージを持ちますか。
  - ・お金 ・消費税（増額される） ・国のために使われるお金 ・公務員の給料
  - ・選挙運営費 ・問題になっている ・わからない
- 2 「税」の種類で知っているものは何ですか。
  - ・消費税 {・所得税 ・土地（固定資産税） ・町民（住民税）} ・わからない※ { } は児童1名が記入。
- 3 税金はどこに納められると思いますか。
  - ・税務署 ・財務省 ・国会 ・銀行 ・政府 ・国 ・役場
  - ・東京 ・分からない
- 4 税金は何に使われていると思いますか。
  - ・公務員の給料 ・パトカーなど ・選挙運営費 ・国のため ・募金
  - ・国会 ・支援 ・被災地 ・国立〇〇を造るため ・道 ・国の建物
  - ・分からない
- 5 税金がどのように使うか、誰が決めていると思いますか。
  - ・議員 ・財務大臣 ・国の偉い人 ・総理大臣 ・政治 ・天皇
  - ・分からない
- 6 税金は必要だと思いますか。
  - ・必要（26人）
  - ・不必要（6人）
  - ・分からない（4人）
- 7 税金について知りたいことは何ですか。
  - ・税とは何ですか。 ・税は減らすことはできますか。
  - ・税は何のためにあるのか。 ・税をなぜ作ったのか。
  - ・誰がどのように決め、使われているか詳しく知りたい。
  - ・なぜ、税が高くなっているのか。

### 3 指導に当たって

児童は、税について詳しく学習していないが、テレビ等の情報から税に関する言葉をいくつか知っている。さらに、私たちの暮らしのために税金は使われていると感じている児童も少なくない。特に、「税の種類で知っているものは何か。」については、半数以上の児童が消費税と回答した。しかし、それ以外の税については、分からない児童がほとんどである。

また、36名中、26名もの児童が「税金は必要」と考えている。

以上のことから、この学習を通して、税に関する基礎的な知識を身に付けさせ、納税者としての意識を高めていきたいと考える。

### 4 指導計画（2時間扱い）

時間	学習内容	指導上の留意点	評価規準
時間外①	「税に関するアンケート」 ▷アンケートに記入する。		
1	租税教室① 実践授業Ⅰ ▷私たちの生活と税 ゲストティーチャー 女川町税務会計課 課長補佐 森田 誠 殿	○ゲストティーチャーの講話や視聴覚教材（DVD）を活用し、納税の必要性を具体的に知らせる。	○税金は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。 (知識・理解)
2	租税教室② 実践授業Ⅱ ▷女川町の暮らしと税 ゲストティーチャー 女川町税務会計課 参事 平塚 英一 殿	○女川町の税金についての講話を聞き、納税が町を支えていることを具体的に知らせる。	○女川町の税金と私たちの暮らしが密接に関わっていることを理解している。 (知識・理解)
時間外②	税に関する絵はがきコンクール ▷「税」の大切さを絵はがきに表す。		

### 5 社会科との関連

#### 【日本の歴史】

『天皇中心の国づくり』

○大化の改新と天皇の力の広がり

・国を治めるための法律（律令）ができ、租・調・庸といった税を納めることや、兵役の義務が人々に課された。

・都のにぎわいを支える地方の人々の生活は、納税による負担が大変厳しいものだった。

『3人の武将と天下統一』

○大阪城と豊臣秀吉

・検地により、田畑の広さを調べ、年貢を納めさせた。

『江戸幕府と政治の安定』

○人々の暮らしと身分

・百姓は農村や山村、漁村に住み、収穫の半分にもなる重い年貢を納めたり、いろいろな力仕事をさせられたりした。

『明治の国づくりを進めた人々』

○大久保利通と明治新政府の改革

・税の仕組みを改め、国の収入を安定させようとした（地租改正）。

『世界に歩み出した日本』

○条約改正をめざして

- ・修好通商条約と関税自主権の内容について確かめる。
- ・修好通商条約は、日本に関税自主権が認められていない不平等条約だった。
- ・関税自主権が認められていないことは日本にとって不利である。
- ・輸入品にかかる税金を自由に決められない。

【生活と政治】

『子育て支援の願いを実現する政治』

○集められた税がどのように使われているか知る。

- ・市は住民や会社から集めた税金や国からの補助金を使って事業を行っている。

○税金の集められ方と使われ方について調べる。

- ・ものを買ったときに税金がかかる。
- ・市区町村に住んでいる人、土地や建物を持っている人から集めている。
- ・会社や商売をしている人から集めている。
- ・警察や消防の仕事、道路や橋の建設に使われている。

○税金がなかったらどうなるのかを考え、税金の役割について話し合う。

- ・火事になっても消防自動車がかなくて、消火できない。
- ・ごみを回収する人がいなくなり、町中にごみがあふれてしまう。

『わたしたちのくらしと日本国憲法』

○税の働き

- ・三大義務（教育・勤労・納税）

6 実践内容

『私たちの生活と税』

(1) 目 標

○税の種類や使われ方などを知り、税に関する知識を高める。

(2) 実施期日：平成30年9月4日（火）5校時

(3) 講 師：女川町税務会計課 課長補佐 森田 誠 殿

(4) 対 象：女川町立女川小学校6学年 計36人

(5) 本時の展開

段階	学習活動 ◎発問 ・ 児童の反応 ◇留意点	学習の様子 ◎発問 ・ 児童の反応
導入	<p>1 これまでの学習を振り返る。 ◎これまで、税金に関してどんなことを学習したかな。 ◇聖徳太子や大久保利通などゆかりのある人物等をヒントとして提示する。 ・『租・調・庸』といった租税制度。 ・地租改正。</p> <p>2 本時の学習内容を確認する。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">税金について理解を深めよう</span></p> <p>3 ゲストティーチャーを紹介する。</p>	 <p>◎税金について知っていることは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税</li> <li>・固定資産税</li> <li>・所得税</li> </ul>

<p>展開</p>	<p>4 ゲストティーチャーの説明を聞く。</p> <p>(1) 国民の三大義務を知る。</p> <p>◎国民の三大義務を知っていますか。</p> <p>◇日常生活に関係していることを想起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に通うこと。</li> <li>・働くこと。</li> <li>・税金を納めること。</li> </ul> <p>(2) 税金の種類について知る。</p> <p>◎知っている税金の種類を発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税</li> <li>・固定資産税</li> </ul> <p>◇プレゼンソフトを活用し、税金はどのように徴収されるのか理解させる。(国税・地方税)</p> <p>◇誰が税金を納めるか、資料を活用してゲストティーチャーの話聞く。</p> <p>(3) 税金の使い道について知る。</p> <p>◎税金は、誰がどのように使うのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民が使う。</li> </ul> <p>◇ゲストティーチャーから国民が納めた税は、国民のために使われていることを聞く。</p> <p>(4) DVDを見る。</p> <p>「マリンとヤマトの不思議な日曜日」</p> <p>◇DVDを視聴しながら、税金がなかったら私たちの生活がどのようになるか知る。</p> <p>(5) 1億円の重さを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんなに重いんだ。</li> <li>・大きい。</li> <li>・すごい。</li> </ul>	<div style="text-align: center;"> <h1>国民の三大義務</h1> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p><b>教育の義務</b></p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>勤労の義務</b></p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>納税の義務</b></p>  </div> </div> <p>◎日本国憲法で国民に求められる3つの義務は何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強する。</li> <li>・仕事をする。</li> </ul> <p>◎もう一つは何だろう。買い物をしている人は守っているね。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税を払う。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <h2>国税</h2> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>〈直接税〉</p>  <p>所得税 復興特別所得税 復興特別所得税</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>〈間接税〉</p>  <p>酒税 消費税 たばこ税</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <p>◎1億円のレプリカを持ってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重たい。</li> <li>・紙がこんなに重い。</li> </ul>
<p>まとめ</p>	<p>5 税についてまとめる。</p> <p>(1) ゲストティーチャーのまとめの話を聞く。</p> <p>(2) 学習感想を発表する。</p> <p>6 次時の学習内容を知る。</p> <p>◇女川町の税金について学習することを話す。</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <p>※税に関する興味・関心が高まり、メモをしながらまとめを聞いていた。</p>

## 7 税に関する絵はがきコンクールへの作品（9月応募）



## 8 租税教室実施後の感想文から

### ① 女子児童T

「税金は必要か?」という問題に対して、私は別になくてもいいのではないかと思いましたが、今回の租税教室で税金がなくなると町がゴミだらけになったり、横断歩道を渡るためにお金がかかったり、信号が消えて事故が多発したりと今の生活では考えられない不便なことが起こることが分かりました。そのことから、税はとても大切だと分かりました。税があるからこの社会は成り立っているように感じました。

### ② 女子児童K

私たちは、税金によって支えられて生活しているということが分かりました。何気なく使っている机や教科書ですが、これからもっと大切に使おうと思いました。

私たちは、いつか大人になります。その時は、『税金を納めて大切に活用する大人』になりたいと思います。

### ③ 男子児童M

自分が想像していた以上に税の種類がたくさんあることを租税教室で学び、驚きました。また、最初、税に悪いイメージがありましたが、税に関するアニメを見たり、役場の方の話を聞いたりして、税はとても大切なお金と知りました。

### ④ 女子児童M

少し難しい話でしたが、とても勉強になりました。質問に対して丁寧に答えてくださったのでとても分かりやすかったです。女川町の税金だけで30億円を超えていた事にとても驚きました。一人一人が働き、助け合うことが私は必要だと考えています。

## 9 まとめ（実践を終えて）

- ・児童は、税に関して律令時代の「租・調・庸」や江戸時代の「年貢」を学んでいた。そのため、現在の税と比較することができ、税のしくみや内容についての興味・関心を高めることができた。
- ・女川町の税務会計課の職員から話をいただくことで身近な事象から税の集め方や使われ方について理解を深めることができた。
- ・DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」の視聴を通して、税金がなくなった時の生活が

不便になることを知り，税金が私たちの生活を支えていることを深く理解できた。

- ・警察署，病院，消防署等公共の施設管理や道路，ゴミ処理なども税金によって整備・運営されていることを理解できた。
- ・学校の物品の購入や施設の管理は，税金で行われていることを知り，物を大切にしようとする思いを持たせることができた。
- ・税に関する興味・関心が高まり，メモをしながらまとめを聞いていた。

## 10 最後に

児童は，消費税を支払うなど，実生活の中で税と関わっている。しかし，歴史上での税には，「人々を苦しめるもの」という認識を持っていたため，税によいイメージを持っていなかった。しかし，今回の授業で，税は私たちの生活を豊かにするものであり，社会のみんなで支えるシステムであることを知った。児童は，納税の大切さを学び，社会的な義務や責任を果たそうという気持ちを感想文に表すことができた。これからの社会を担う児童にとって貴重な機会となった。これまでに女川町税務会計課の職員の皆様に多大なる御支援・御協力をいただいたことに改めて感謝したい。